

ひとりぼっちの少女と雪男。友情に、言葉なんかいらない。



あらすじ

▶雪に閉ざされたノルウェー北部のお話です。新しい家族と新しい生活を始めるため、列車で人里離れた村にやってきた少女ヤナ。みんなの言葉が理解できず、村の子どもたちからは「伝説の怪物がいるぞ」とからかわれます。▶ある日ヤナは、迷子になった雪男の子ども（イエティ・ブー）と出会い、自分を信じることを学び、新しい家族やコミュニティ（社会）、山の雪男たちとの距離を縮めていく…。▶自分を理解してもらおうと奮闘する小さな子どもの「決意」と、友だちに形や大きさなど関係ないという「気づき」を描いた、ちょっぴりダークでおかしくて、切ない物語。▶この作品は、難民であること、よそ者であることに主眼を置き、他者を受け入れることによって地域社会がどのように変化し成長しうるかというテーマを探求しています。

ピクルドイメージ、好評につき再来日。

2000年に結成された Pickled Image(ピクルドイメージ) は、イングランド ブリストルの劇団。ライブパフォーマンスや人形劇を専門とし、創立以来、国際的な評価と賞を多数獲得。英国および海外で定期的に公演を行っています。



心の奥に届く『ヤナと雪男』

『ヤナと雪男』では、少女「ヤナ」の名前と、雪男を指す「イエティ」という言葉以外は、誰にもわかりません。それは「ジバリッシュ」という誰にも理解できない造語台詞を使っているからです。

つまり、観客の誰もがヤナと同じように言葉が通じない切なさを味わうのです。言葉も気持ちも理解できない哀しさ、寂しさをヤナと一緒に体験しながら、多様な音楽と踊りによって、誰もが劇の中に入っていくのです。

昨年観てくださった大人のお客さまは、「まさか、こんな人形劇に出会えるとは」と口々に語り、学校から訪れた小学生たちは、「何度でも観たい」「次は家族と一緒に観たい」と話し、4年越しで招へいた私たちスタッフを喜ばせてくれました。

国内の他劇場では観ることができません。どうぞ、ご来場ください。



しいの実シアター芸術監督 園山 土 筆



セリフが聞こえなくても大丈夫！ 耳の不自由な方も充分楽しめます。

海外の劇団だから言葉がわからない？

そんな心配はいりません。

この作品のセリフは、あえて理解不能な言語を使います。ですから、耳の不自由な方も充分楽しむことができます！手話通訳付きのビフォースピーチ・アフタースピーチもあります。息を吹き込まれた人形の動きと美しい美術セット。人形劇の醍醐味を、ぜひ体感してください。

観劇後の楽しみ 高い芸術性を間近でどうぞ！

上演後、人形操作や舞台装置をご見学いただけます。どうぞ、遠慮なく人形や舞台の素晴らしさをご覧ください。

★森の劇場・しいの実シアター(100席)へようこそ！

いよいよ来年秋。新たな感動と出会うとき。

第8回 松江・森の演劇祭

2025年11月開催 準備進む！



3年に一度の『松江・森の演劇祭』。開催が、いよいよ来年に迫りました。しいの実シアターを主会場にした森の演劇ゾーンで、国内外から秀作舞台を招へいして賑やかに開催します。今度はどんな劇団がやってくるのか？どうぞ、お楽しみに！



どなたでも
ご利用いただけます

貸館します！

《しいの実シアター》

よく聞こえ、よく見える小劇場です。各種総会、講演会、楽器練習等にどうぞ。

ご相談・お申込 TEL. 0852-54-2400

《かやぶき交流館》

明治後期に建てられた古民家です。教室や様々なお集まりにご利用ください。

●1部屋1時間 670円(全4室)

ご相談・お申込 TEL. 0852-54-2332

